

好酸球性副鼻腔炎における手術治療および抗体治療患者の QOL 評価と重症化予防に関する研究

研究分担者 秋山 貢佐 香川大学 助教

**研究要旨**

好酸球性副鼻腔炎は難治性疾患である。手術方法や外来での管理は標準化されておらず、施設間で治療成績には差が存在すると考えられる。また各種薬剤使用や管理方法についても確立しておらず、治療のアウトカムが不明確なため、日常診療において多様な疑問点が存在する。

好酸球性副鼻腔炎の日常診療における不明確な点について、最適な治療方法を検討していくためにこれまでの症例を後ろ向きに検討し、難治化因子の解明などを行った。

**A. 研究目的**

好酸球性副鼻腔炎の日常診療における重症化に関連する因子を分析し、治療成績への影響を検討する。最終的には最適な治療方法の確立を目的とする。

**B. 研究方法**

①新規に本邦で確立された術後内視鏡スコアリングシステムを用いて好酸球性副鼻腔炎術後経過について検討し、経過不良に関連する因子について検討を行った。

②自施設で手術治療を行った患者の長期予後を検討し、抗体治療薬が導入となった患者の背景、二次治療が必要となることを早期に予期しうるかについて後ろ向きに検討を行った。

（倫理面への配慮）

現在前向き研究は行っておらず、後ろ向き試験のみを施行している。そのため非侵襲的で患者に対する不利益などは生じる危険性はない。各研究についてはすべて倫理委員会の承認のもとで施行している。

**C. 研究結果**

①術後経過不良例は術後3か月時点ですでに内視鏡スコアが高値であり、長期術後経過は術後3か月での内視鏡スコアと有意な相関があることが明らかとなった。このことから術後比較的早期の内視鏡所見が予後不良例の予測因子であることを明らかとした。

②術後の長期経過観察中（中央値3年）に抗体薬もしくは再手術が必要となった患者が17%存在しており、低年齢、術前CT値高値、術後3ヶ月の内視鏡所見が二次治療導入の指標となることが明らかとなった。

**D. 考察**

好酸球性副鼻腔炎は難治性・易再発性疾患であるが

手術コンセプトや周術期治療の工夫により JESREC study が発表された当時よりも治療成績は向上している。しかし一定数の術後再発例は存在し追加治療を余儀なくされる場合は少なくない。予後不良患者を術前もしくは術後早期から予見することで、難治例に対して再手術や生物製剤の投与をスムーズに導入することが可能となると考える。

**E. 結論**

好酸球性副鼻腔炎に対する治療方針、予後推定因子について一定のエビデンス構築に寄与できたと考える。

**F. 健康危険情報**

当該研究に関連した健康被害は生じていない。

**G. 研究発表**

1. 論文発表

・Akiyama K et al. Short-term outcomes of olfaction in patients with eosinophilic chronic rhinosinusitis after endoscopic sinus surgery and an assessment of prognostic factors. International Forum of Allergy & Rhinology 2020 Feb;10(2):208-216.

・Akiyama K et al. Olfactory cleft polyposis and respiratory epithelial adenomatoid hamartoma (REAH) in eosinophilic chronic rhinosinusitis (ECRS). International Forum of Allergy & Rhinology 2020;10(12):1337-1339

・秋山 貢佐. 【嗅覚障害の病態と治療】好酸球性副鼻腔炎手術治療. アレルギーの臨床. 2022年. 42; 9-12. 北陸館

・秋山 貢佐. 好酸球性副鼻腔炎：手術治療とステロイド. アレルギーの臨床. 2022年. 43; 26-29. 北陸館

・Akiyama K et al. Early postoperative endoscopic

score can predict the long-term endoscopic outcomes in eosinophilic chronic rhinosinusitis (ECRS) patients. Brazilian Journal of Otorhinolaryngology. 2023; 89:136-143.

## 2. 学会発表

- ・第 58 回日本鼻科学会 Impact of preoperative systemic corticosteroids on the histology and diagnosis of eosinophilic chronic rhinosinusitis.
- ・第 121 回日耳鼻総会国際シンポジウム Impact of preoperative systemic corticosteroids on the histology and diagnosis of eosinophilic chronic rhinosinusitis.

- ・第 58 回日本鼻科学会 ECRS における嗅裂ポリープと REAH の比較
- ・第 122 回日耳鼻総会 好酸球性副鼻腔炎術後における内視鏡所見の長期経過

## H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし